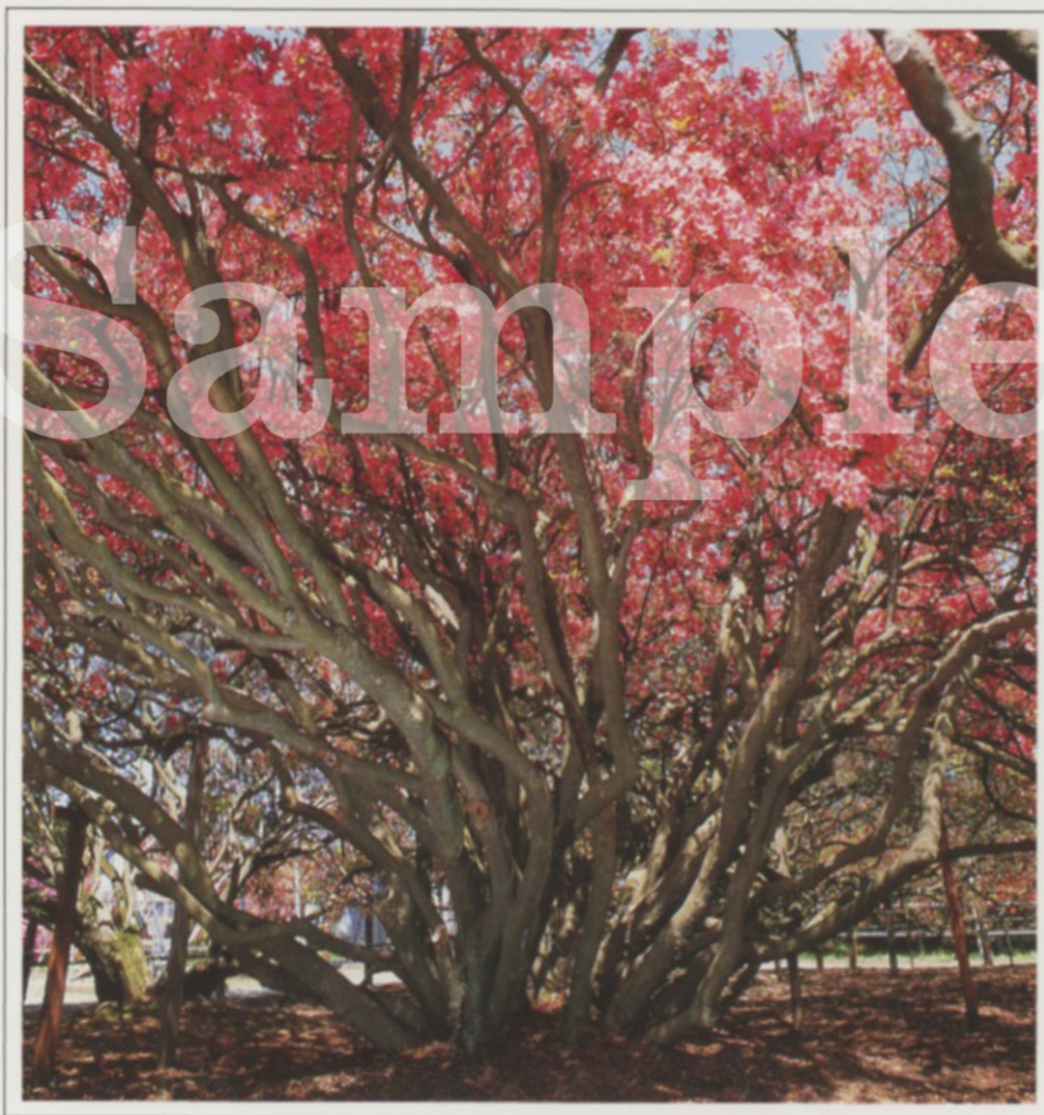


●見つめよう ふるさとの自然・歴史・文化●

～出かけてみませんか、  
ふるさと散歩 館林～



館林市の花：ヤマツツジ  
Tatebayashi City flower : Mountain Azaleas

- つつじが岡公園（花山町）  
全国に類をみないツツジの名園であり、面積11万平方メートルの園内に20余種、約1万株のツツジがあります。また、貴重品種も多く昭和9年12月28日、国の名勝に指定。
- 茂林寺沼及び低地湿原（堀工町）  
低地湿原の原形をよく保っており、コウホネなどの水生植物、カキツバタ・クサレダマなどの湿原の植物が生育し、昭和35年3月23日、群馬県の天然記念物に指定。
- 館林城跡（城町）  
城下町館林を物語る遺構として、本丸跡、三の丸跡に土塁が一部残っています。この土橋門と土塁は昭和48年4月1日、市の史跡に指定。
- 茂林寺（堀工町）  
分福茶釜の伝説で名高い茂林寺の境内には、ユーモラスなたぬき像や寺宝の「分福茶釜」があり、また、大ラカンマキは昭和53年5月25日、市の天然記念物に指定。
- 田山花袋記念館（城町）  
館林城本丸跡に郷土の文豪田山花袋の顕彰と文化創造の場として昭和62年4月、開館。隣接する第二資料館に田山花袋旧居（市指定史跡）を移築保存。
- 館林市子ども科学館（城町）  
歴史の森の一画に、科学を通して次代を担う青少年の未知への夢を育む場として、平成3年5月、オープン。歴史の森には、この他、縄文邑等を整備。
- 旧上毛モスリン事務所（城町・第二資料館内）  
近代産業のひとつとして町の発展に大きな影響を与えた上毛モスリン(株)の本館事務所で、明治41年に建てられた木造2階建ての擬洋風建築。昭和53年、群馬県の重要文化財に指定。
- 多々良沼と白鳥（日向町）  
市の西端にある多々良沼には、多くの動植物が生息し、特に、冬季には、カモ類などの渡り鳥とともに白鳥が飛来。

表紙 市の花：ヤマツツジ

つつじが岡公園には、ヤマツツジをはじめ、オオヤマツツジ・ホンキリシマ等があり、高さ5メートル、樹齢800年に及ぶヤマツツジを昭和49年、市の花に指定。

裏表紙 彫刻の小径（松沼町・高根町）

多々良沼公園内の赤松林の中に、自然を満喫しながら芸術に触れることのできる憩いの場として、現在までに33点の彫刻を設置。

発行 “潤いのある館林づくり” 市民協議会 文化の部会  
(事務局) 〒374-0018 館林市城町3-1  
館林市教育委員会 文化振興課  
電話 0276-74-4111

発行年月日 平成11年3月31日